

# 沖縄久高島の イザイホー



2K-Fullスキャンによる16mm画像／イザイホー第4日目午後、御殿庭における玉城ミスイル 神扇を持つヤジクとクバの扇を持つナンチュ／堀田泰寛撮影

—— 伝承が途絶えて40数年 いま鮮烈に甦るイザイホーの記憶 ——

**2023.5.1** 月 17:30開演(16:45開場)  
一般/2000円(前売り券1500円) 学生/1000円 <全席指定・税込み>

**特別上映会+トークイベント**  
**紀伊國屋ホール** | 東京都新宿区新宿3-17-7  
紀伊國屋書店新宿本店4F

●JR新宿駅東口より徒歩5分  
●地下鉄 丸ノ内線、副都心線、都営新宿線「新宿三丁目」駅下車B7出口

【2023年デジタルリメイク版】  
●上映時間/110分  
**トークセッション**(20時~21時30分)  
—— 日本 の 古 代 から、ア ジ ア から、  
年 中 行 事 から の 視 座 ——  
学 習 院 大 学 名 譽 教 授  
**諏訪春雄**  
北村皆雄  
ヴイジュアルフォーロ代表  
**乾尚彦**  
久高島年中行事研究会、元学習院女子大学教授  
**岡田一男**  
『沖縄久高島のイザイホー』監修

サポーター募集 | 沖縄久高島イザイホー映像アーカイブ化にご支援ください

[https://readyfor.jp/projects/monthly\\_izaiho](https://readyfor.jp/projects/monthly_izaiho)(QRコードまたは「イザイホーサポーター」で検索)



# 半世紀の時季を超え、高精細画像で甦るイザイホーの世界

この映画は、16mmカラーフィルムで撮影した映像を2K-fullの高精細画像にデジタル化し、16:9の画面に変換したものである。

2021年初夏、文化財映像研究会は、クラウドファンディング

(READYFOR 沖縄久高島の祭礼 イザイホー|貴重な記録映像をデジタル化し後世へ)で多くの方々からご支援をいただき、1978年に撮影された全映像を高精細画像にデジタル化することに成功した。

## イザイホーとは

「イザイホー」は沖縄の久高島で12年に一度、午年に行なわれる祭礼で、600年以上前から続いてきた重要な神事のひとつである。久高島は、首里の東に位置し、神聖な島と信じられ、ノロと呼ばれる巫女を中心とした神女組織で継承されてきた。久高島で生まれ育った女性は、祭祀を執り行なう役割を与えられ、その就任儀礼がイザイホーである。

沖縄の社会では、女性が中心となって祭祀を行ない、男性が政治的な役割をもつという伝統があった。これらは、日本古来の祭祀の原型を留めているのではないかとされ、多くの研究者の注目を集めてきた。しかし社会の変化にともない、1978年を最後に祭礼は途絶え、その存続と継承が危ぶまれている。

## 儀礼過程の詳細な記録 神謡に原音と現代語訳の字幕

この映画では、祭礼が始まるひと月前の御嶽廻り、御願立(ウガンダティ)から、祭場の準備、香炉の継承、4日間の本祭、祭場の撤去、終了祝い、一年を締めくくる「フバワク」の祭りまで、儀礼過程が詳細に記録されている。収録された祭祀歌謡に、原音カタカナ表記、現代語訳をつけ、「イザイホー」の祭祀歌謡の世界をより深く理解できるよう字幕をつけた。

## デジタル映像アーカイブの構築に向けて

この映画は110分だが、カットされたシーンを含めると、全体の長さは17時間に及ぶ。イザイホーには多くの記録映像があるが、16mmカラーフィルムの同期録音撮影の例はなく、儀礼の手順や神謡のすべてを記録した映像は他にはない。半世紀近くの月日が流れ、このままでは、島の中で脈々と受け継がれてきた儀礼は、失われてしまう可能性が高い。この映像は、もしも将来、イザイホーを復活する日が来るならば、その復元において、なくてはならない参考資料となり得るだろう。

イザイホーは、貴重な無形の文化遺産です。「文化財映像研究会」は、高精細スキャンの技術を用いてデジタル化し、半永久的に保存し、それを社会に還元し活用するプロジェクトに取り組んでいます。今後は、全映像のアーカイブ化、データベース化をめざし、二〇二六年(午年)を最終ゴールと定め、引き続き活動を行なっています。

今回のトークイベントでは、未公開映像を紹介し、イザイホーを琉球王府との関わり、日本全体、更には他のアジア地域と比較し、検討したいと考えております。それぞれの専門分野の先生方、また会場の皆様のご意見を賜り、この映像記録を後世に伝えるプロジェクトの参考にさせていただきますので、多くの方々のご参加をお願い申し上げます。

## 諏訪春雄

1934年新潟県生まれ。学習院大学名誉教授。前国際浮世絵学会理事長。元日本近世文学学会代表。研究領域は、近世文芸、近世演劇、浮世絵、比較民俗学など幅広い。著書は『日中比較芸能史』、『日本の祭りと芸能』、『歌舞伎へどうぞ』、『大地女性太陽 三語で解く日本人論』、『国文学の百年』、『親鸞の発見した日本—仏教の究極』、『能・狂言の誕生』、『日本の風水』、『親日台湾の根源を探る—台湾原住民神話と日本人』、『日本国誕生の秘密、伊勢・出雲・三輪三社の神話に探る』ほか多数。



## 北村皆雄

1942年長野県生まれ。ドキュメンタリー映画監督。ヴィジュアルフォークロア代表。1960年代より、アジア、沖縄・日本各地をフィールドに、映像人類学・民俗学を掲げ100を超える映画・テレビ番組を撮り続けてきた。沖縄の代表作に『カペールの馬—イザイホー』(1966撮影)、『アカマタの歌』(1973)、『ユウクイ—池間島』(1974)、『女が男を守る島—久高島』(1983)、ほか『ほかいびと』(2011)、『冥界篇』(2016)、『チロヌブカムイオマンテ』(1986撮影/2021制作)などがある。



## 乾尚彦

1953年東京都生まれ。元学習院女子大学教授。藝能学会常任理事。アジアの伝統的な生活空間を読み解く研究を1970年代から始める。主要なフィールドは、フィリピンソンゴのボトック族、台湾のヤマ族、中国雲南省のワ族。1995年以降は、民俗文化の資料化、祭祀世界の比較研究に重点をおいている。YouTubeで祭祀の記録映像を公開中(@folklorearchives)。久高島に関しては、37回の現地での撮影会に基づく「久高島年中行事映像データベース」(2009年)の作成に従事。その維持と活用の方策を課題としている。



## 岡田一男

1942年東京生まれ。株式会社東京シネマ新社代表取締役。60年代、モスクワの全ソ国立映画大学劇映画監督科にて、ミハイル・ロム監督に師事。70年代、下中記念財団の国際学術映像収集運動、エンサイクロペディア・シネマトグラフィの日本導入に参画、西独の科学的ドキュメンテーションフィルム制作を学ぶ。その後、教育・科学・文化にわたる幅広い生物誌・民族誌映像制作と国際的映像収集に関わっている。沖縄国際海洋博、3面マルチ作品の構成を行ない、沖縄関係では、民俗誌映像「沖縄久高島のイザイホー」、「石垣島川平のマングラニヤ」などの作品がある。



2023年5月1日(月)17:30開演(16:45開場)

チケット料金

一般/2000円(前売り券1500円) 学生/1000円(全席指定・税込)  
※文化財映像研究会発行の優待券につきましては、座席のご指定はできませんのでご了承ください。

▶チケット取り扱い

3月21日販売開始(前売り券の販売は4月30日まで)

キノチケットカウンター(紀伊國屋書店新宿本店1階 10時~18時30分)

キノチケットオンライン(24時間受付)

<https://store.kinokuniya.co.jp/ticket/>

▶申し込み・お問合せ…文化財映像研究会事務局

メール…[bunkazaieizou@gmail.com](mailto:bunkazaieizou@gmail.com)

電話…090-3402-7868(13時~18時 4月30日まで)

※メールかお電話にてご予約ください。チケットご購入の際の振込手数料はおお客様ご負担をお願いいたします

## 沖縄久高島のイザイホー

[2022年デジタル・リメイク版]

上映時間:110分 24P 16:9画面 2K-DCP/BD-R/MP4

制作:文化財映像研究会/東京シネマ新社 岡田一男、石村智、三島まさ

神謡字幕:文化財映像研究会 協力:久高島年中行事研究会

デジタルスキャン:東京光音 整音:TTサウンドワークス

支援:READYFORクラウドファンディング

沖縄久高島の祭礼 イザイホー|貴重な記録映像をデジタル化し後世へ

助成:公益財団法人ポーラ伝統文化振興財団

[1979年版]

上映時間:第一部54分 第二部48分 24P 4:3画面 2K-DCP/BD-R/MP4

制作:伝統文化財記録保存会、公益財団法人下中記念財団EC日本アーカイブズ、東京シネマ新社

助成:公益財団法人放送文化基金 学術指導:仲松弥秀、谷川健一、本田安次

協力:西銘シズ、比嘉康雄、宮里千里 ナレーター:草野仁

監督:岡田一男 演出補・録音:後藤雅毅 撮影:谷口常也、草間道則、堀田泰寛、高山永一

録音:羽田野孝志 ネガ編集:川岸喜美枝

プロデューサー:岡田桑三

[制作・配給]文化財映像研究会/東京シネマ新社 [webサイト] <http://tokyocinema.jp/>

[問い合わせ] 〒112-0001 東京都文京区白山2-31-2-101 東京シネマ新社 電話/03-3811-4577 E-mail/[info@tokyocinema.jp](mailto:info@tokyocinema.jp)

[主催]文化財映像研究会

[協力団体]アジア民族文化学会、沖縄文化協会、藝能学会、東京那覇会、日本映像民俗学の会、法政大学沖縄文化研究所、薫民族舞踊文化財団(五十音順)